

議会だより



市議会
ホームページ

発行 鎌ヶ谷市議会
編集 議会だより編集委員会

〒273-0195
鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷二丁目6番1号
電話 047(445)1191(直通)
FAX 047(445)2053

URL <https://www.city.kamagaya.chiba.jp/gikai/index.html>



第49回鎌ヶ谷市民まつりが5年ぶりに開催され、多くの人でにぎわいました。(10月14日)

9月会議

令和4年度一般会計を
はじめとする5会計の
決算認定議案を認定し
ました

決算認定議案は、9人の委員で構成する
決算審査特別委員会で審査し、本会議にお
いて、委員長から審査の経過と結果の報告
を行った後、すべて認定しました。

一般会計決算額は、歳入約435億4千万円、
歳出約408億円となり、歳入歳出とも前年度
より減となりました。主な要因は、歳入で
は国庫支出金や地方債などの減、歳出では
子育て世帯臨時特別給付金、義務教育施設
維持補修事業費などの減によるものです。

今会議では、決算認定議案を含め、市長
から提出された議案等19件、議員から提出
された発議案1件及び団体から提出された
陳情2件について審議しました。

(審議の結果等は4面に掲載)

国に意見書を提出しました

義務教育費国庫負担制度の堅持等に関する意
見書(教育福祉常任委員会の発議)を可決し
国の関係機関に提出しました。

内容は、将来を担う子どもたちの健全育成
のためには、豊かな教育を実現させるとも
に、教育環境の一層の整備を進める必要があ
ることから、義務教育費国庫負担制度の堅持
と必要な教育予算の確保を要望するものです。

9月会議日程

9月7日(木) 議

会議期間の決定

議案の提案説明

議案2件の質疑・採決

10日(日)お知らせ号発行

12日(火)議案に対する質疑

13日(水)総務企画常任委員会

都市市民生活常任委員会

14日(木)教育福祉常任委員会

19日(火)決算審査特別委員会

20日(水)決算審査特別委員会

22日(金)一般質問

25日(月)一般質問

26日(火)一般質問

27日(水)一般質問

29日(金)委員長報告

追加議案の上げ

発議案の提出

質疑・採決

散会

請願・陳情を 提出される方へ

請願・陳情はどなたで
も提出することができます
が、定例の会議で審議
を希望する場合は議事
務局窓口へ直接提出し
てください。

請願書は、議員の紹介
が必要です。(※陳情書
は不要)

要旨は簡潔、明瞭に記
載してください。

内容が多方面にわたる
場合は、それぞれ別の請
願書(陳情書)に分けて
ください。

なお、郵送により提出
された陳情は、その写し
を全議員に配付しますが
審議はいたしません。
詳しくは議事事務局へ
お問い合わせください。

教育委員会委員の任命に同意

現委員の任期満了に伴い、新たに小林修一氏
を任命することに同意しました。

人権擁護委員の推薦について

現委員の任期満了に伴い、新たに奥村さかえ
氏を推薦することに意見を求められ、適任とし
ました。

次回の12月会議は11月30日(木)に開議予定です。

市政に関する一般質問 9月会議は20名の議員が質問

放課後児童クラブの保育環境改善について

佐藤 剛 議員

○ クラブの規模を小さくして、保育の質を高めることへの見解を伺います。

○ 新たな空き教室や専用施設の整備エリアの確保を要するため難しい状況にあります。出席者数に応じて支援員

を増員したり、小学校と連携し、放課後に使用しない部屋を一時的に借りるなど、安全で安心なクラブの運営を継続します。

○ 夏休みなどの長期休暇中のクラブにおける昼食の提供

とともに、市のさらなる魅力アップや地域活性化の取組に重点化を図りつつ、少子高齢化による扶助費の増や物価のさらなる高騰などが見込まれるため、引き続き行財政改革に取り組み、健全な財政運営を担保しながら、令和6年度の予算編成を行います。

海道日本ハムファイターズの球団や新たな本拠地である北広島市を訪問し、それぞれ今後の連携について意見交換を行ってきたためです。

こうした状況から、子育て支援や安全安心の取組などの市民サービスの向上に努める

谷スタジアムを活用していくことが重要であります。

○ 北広島市との連携を強化するため、エスコンフィールドでの鎌ヶ谷デーの計画について伺います。

○ プロスポーツを活用したまちづくり検討会の中で、同計画についても検討課題となっております。

○ 令和4年度当初は休職により1名が未配置でしたが年度途中で代替教員を配置しました。また、年度途中で発生した欠員のうち、産前産後休暇で2名、長期療養休暇で1名、休職で1名の計4名は、年度途中で代替教員を配置できませんでした。

○ 教員不足による子どもへの影響について伺います。

○ 子どもには年度途中から担任が替わることや授業の進め方等によっては精神的な負担をかけてしまうと認識しています。

○ 文科科学省の発表では、

民間保育所が1園、認定こども園が1園、私立幼稚園が8園、公立の子ども発達センターが1園の計11施設であり、その内、私立幼稚園1園を除いた10施設で、既に安全装置の設置が完了しています。なお、未設置の私立幼稚園は、今年度中に設置を完了する予定と伺っています。

○ 令和3年7月に福岡県、令和4年9月に静岡県で、送迎バスに置き去りの園児が、熱中症で亡くなられた大変痛ましい事案を受けて、送迎用バスの置き去り防止安全装置の設置が義務化されましたがその進捗状況を伺います。

○ 市内において送迎バスを運行している保育施設などは

○ 令和2年度の法改正に伴い、重点整備地区の考え方の改正は行われたのか伺います。

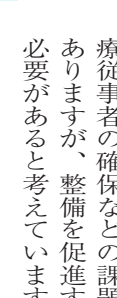
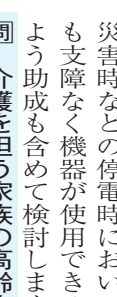
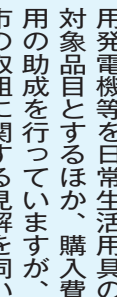
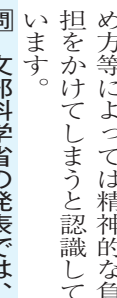
○ 法改正に伴い、国の移動等円滑化の促進に関する基本方針の改正が行われ、重点整備地区の要件が緩和され、地

域の実情に合わせて選定することが可能となりました。

○ 身体障がい者の方にとつてどのようなバリアフリーの対策が必要か市の見解を伺います。

○ 令和4年度は、率で17.1%、量で13tでした。

○ 近年は処分費用やCO2削減のため、生ごみを水に変



保育現場の安全対策について

伊福 幸一 議員

○ 令和3年7月に福岡県、令和4年9月に静岡県で、送迎バスに置き去りの園児が、熱中症で亡くなられた大変痛ましい事案を受けて、送迎用バスの置き去り防止安全装置の設置が義務化されましたがその進捗状況を伺います。

○ 市内において送迎バスを運行している保育施設などは

○ 令和2年度の法改正に伴い、重点整備地区の考え方の改正は行われたのか伺います。

○ 法改正に伴い、国の移動等円滑化の促進に関する基本方針の改正が行われ、重点整備地区の要件が緩和され、地

域の実情に合わせて選定することが可能となりました。

○ 身体障がい者の方にとつてどのようなバリアフリーの対策が必要か市の見解を伺います。

○ 具体的な対策としては、

○ 避難所となる各小中学校をはじめ公共施設の受水槽への給水栓設置など、早期に実施できるものから着手していく、井戸付耐震性貯水槽については、老朽化したものへの対応を含めて、専門業者の意見を聞き検討していきます。

また、ペットボトルの飲料水の備蓄、飲料水袋の更新などの検討その他、県企業局との連携や家庭における備蓄の取組について伺います。

○ 重症心身障害児(者)の支援について

○ 重度障がい者に対応したグループホームは不足している状況のため、看護師等の医療従事者の確保などの課題もありませんが、整備を促進する必要がありますが、考えています。

○ 令和4年度当初は休職により1名が未配置でしたが年度途中で代替教員を配置しました。また、年度途中で発生した欠員のうち、産前産後休暇で2名、長期療養休暇で1名、休職で1名の計4名は、年度途中で代替教員を配置できませんでした。

○ 教員不足による子どもへの影響について伺います。

○ 子どもには年度途中から担任が替わることや授業の進め方等によっては精神的な負担をかけてしまうと認識しています。

○ 文科科学省の発表では、

民間保育所が1園、認定こども園が1園、私立幼稚園が8園、公立の子ども発達センターが1園の計11施設であり、その内、私立幼稚園1園を除いた10施設で、既に安全装置の設置が完了しています。なお、未設置の私立幼稚園は、今年度中に設置を完了する予定と伺っています。

○ 市内において送迎バスを運行している保育施設などは

○ 令和2年度の法改正に伴い、重点整備地区の考え方の改正は行われたのか伺います。

○ 法改正に伴い、国の移動等円滑化の促進に関する基本方針の改正が行われ、重点整備地区の要件が緩和され、地

域の実情に合わせて選定することが可能となりました。

○ 身体障がい者の方にとつてどのようなバリアフリーの対策が必要か市の見解を伺います。

○ 具体的な対策としては、

○ 避難所となる各小中学校をはじめ公共施設の受水槽への給水栓設置など、早期に実施できるものから着手していく、井戸付耐震性貯水槽については、老朽化したものへの対応を含めて、専門業者の意見を聞き検討していきます。

また、ペットボトルの飲料水の備蓄、飲料水袋の更新などの検討その他、県企業局との連携や家庭における備蓄の取組について伺います。

北千葉道路地下化について

伊藤 仁 議員

○ 北千葉道路を地下化するコストが高架式の2倍から3倍になると確認できたとの答弁が6月会議でありました。その根拠を伺います。

○ 首都高速道路中央環状線や東京外かく環状道路のトンネル区間と高架区間の建設費を比べたものです。

○ そのトンネル区間は40m以上の深地下で、私の言う北千葉道路の地下化は上から掘り割りをやり、その上に蓋をかける方式なので、コストは

○ 令和2年度の法改正に伴い、重点整備地区の考え方の改正は行われたのか伺います。

○ 法改正に伴い、国の移動等円滑化の促進に関する基本方針の改正が行われ、重点整備地区の要件が緩和され、地

域の実情に合わせて選定することが可能となりました。

○ 身体障がい者の方にとつてどのようなバリアフリーの対策が必要か市の見解を伺います。

○ 具体的な対策としては、

○ 避難所となる各小中学校をはじめ公共施設の受水槽への給水栓設置など、早期に実施できるものから着手していく、井戸付耐震性貯水槽については、老朽化したものへの対応を含めて、専門業者の意見を聞き検討していきます。

また、ペットボトルの飲料水の備蓄、飲料水袋の更新などの検討その他、県企業局との連携や家庭における備蓄の取組について伺います。

○ 重症心身障害児(者)の支援について

○ 重度障がい者に対応したグループホームは不足している状況のため、看護師等の医療従事者の確保などの課題もありませんが、整備を促進する必要がありますが、考えています。

○ 令和4年度当初は休職により1名が未配置でしたが年度途中で代替教員を配置しました。また、年度途中で発生した欠員のうち、産前産後休暇で2名、長期療養休暇で1名、休職で1名の計4名は、年度途中で代替教員を配置できませんでした。

○ 教員不足による子どもへの影響について伺います。

○ 子どもには年度途中から担任が替わることや授業の進め方等によっては精神的な負担をかけてしまうと認識しています。

○ 文科科学省の発表では、

民間保育所が1園、認定こども園が1園、私立幼稚園が8園、公立の子ども発達センターが1園の計11施設であり、その内、私立幼稚園1園を除いた10施設で、既に安全装置の設置が完了しています。なお、未設置の私立幼稚園は、今年度中に設置を完了する予定と伺っています。

○ 市内において送迎バスを運行している保育施設などは

○ 令和2年度の法改正に伴い、重点整備地区の考え方の改正は行われたのか伺います。

○ 法改正に伴い、国の移動等円滑化の促進に関する基本方針の改正が行われ、重点整備地区の要件が緩和され、地

域の実情に合わせて選定することが可能となりました。

○ 身体障がい者の方にとつてどのようなバリアフリーの対策が必要か市の見解を伺います。

○ 具体的な対策としては、

○ 避難所となる各小中学校をはじめ公共施設の受水槽への給水栓設置など、早期に実施できるものから着手していく、井戸付耐震性貯水槽については、老朽化したものへの対応を含めて、専門業者の意見を聞き検討していきます。

全く違います。そのうえ、比較している2つの区間は作られた年代が違つたため、コストの比較にはならないと考えるが、それについてどのような考えですか。

○ 一般的に高架構造に比べて地下構造は建設費が高い傾向にあります。

○ 下肢の障がいの方には段差の解消や手すりなどの設置、車椅子をご利用の方には出入口及び通路の幅の確保、また、視覚障がいの方には点字ブロックや音声による誘導装置などの対策が必要と考えられています。

○ 組を強化していきます。

○ 避難所となる各小中学校をはじめ公共施設の受水槽への給水栓設置など、早期に実施できるものから着手していく、井戸付耐震性貯水槽については、老朽化したものへの対応を含めて、専門業者の意見を聞き検討していきます。

また、ペットボトルの飲料水の備蓄、飲料水袋の更新などの検討その他、県企業局との連携や家庭における備蓄の取組について伺います。

○ 重症心身障害児(者)の支援について

○ 重度障がい者に対応したグループホームは不足している状況のため、看護師等の医療従事者の確保などの課題もありませんが、整備を促進する必要がありますが、考えています。

○ 令和4年度当初は休職により1名が未配置でしたが年度途中で代替教員を配置しました。また、年度途中で発生した欠員のうち、産前産後休暇で2名、長期療養休暇で1名、休職で1名の計4名は、年度途中で代替教員を配置できませんでした。

○ 教員不足による子どもへの影響について伺います。

○ 子どもには年度途中から担任が替わることや授業の進め方等によっては精神的な負担をかけてしまうと認識しています。

○ 文科科学省の発表では、

民間保育所が1園、認定こども園が1園、私立幼稚園が8園、公立の子ども発達センターが1園の計11施設であり、その内、私立幼稚園1園を除いた10施設で、既に安全装置の設置が完了しています。なお、未設置の私立幼稚園は、今年度中に設置を完了する予定と伺っています。

○ 市内において送迎バスを運行している保育施設などは

○ 令和2年度の法改正に伴い、重点整備地区の考え方の改正は行われたのか伺います。

○ 法改正に伴い、国の移動等円滑化の促進に関する基本方針の改正が行われ、重点整備地区の要件が緩和され、地

域の実情に合わせて選定することが可能となりました。

○ 身体障がい者の方にとつてどのようなバリアフリーの対策が必要か市の見解を伺います。

○ 具体的な対策としては、

○ 避難所となる各小中学校をはじめ公共施設の受水槽への給水栓設置など、早期に実施できるものから着手していく、井戸付耐震性貯水槽については、老朽化したものへの対応を含めて、専門業者の意見を聞き検討していきます。

また、ペットボトルの飲料水の備蓄、飲料水袋の更新などの検討その他、県企業局との連携や家庭における備蓄の取組について伺います。

○ 重症心身障害児(者)の支援について

○ 重度障がい者に対応したグループホームは不足している状況のため、看護師等の医療従事者の確保などの課題もありませんが、整備を促進する必要がありますが、考えています。



(注1) バリアフリー法：高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律

子どもが医療を受けるための経済的負担について(医療費窓口負担と国民健康保険料)

松原 美子 議員

問 子ども医療費の自己負担金が300円となる世帯はどの程度の収入額なのか伺います。

答 例えば、夫婦子ども1名の3名世帯で、夫が妻と子ども2名を扶養している場合は、年収221万6千円以上が目安となります。

問 次に国民健康保険料の均等割について0歳の子どもの負担が必要なのか伺います。

答 国民健康保険では扶養の制度がないことから、医療分の均等割と後期高齢者支援金分とを合わせて、0歳から2万4千600円が賦課されます。

東武鎌ヶ谷駅周辺のまちづくりについて

水町 元大 議員

問 都市計画マスタープランにおける東武鎌ヶ谷駅周辺の機能や位置づけについて伺います。

答 都市軸を支える3つの核としての拠点性を高め魅力的な都市空間を形成し、市民生活を支える市のまちづくりの中心として発展を目指すとともに、日常的な買い物や市民サービス等のふれあいやにぎわいを提供する地域商業拠点として位置づけています。

問 にぎわいを創出するための事業者支援や課題について伺います。

答 空き店舗活用事業やコミュニティビジネス、ベンチャービジネス事業を実施していますが、社会情勢や物価高の影響もあり、大変厳しい状況です。

本市のシティプロモーションについて

後関 俊一 議員

問 市のシティプロモーションの考え方を伺います。

答 市の認知度やブランドイメージの向上、高い利便性や子育て環境の充実、にぎわいの創出、観光などの地域活性化、さらには人口増加などを目的として、市民や企業と連携して取り組んでいます。

問 シティプロモーションに関する職員の意識醸成をどのように行っていますか。

答 条例に基づき実施する融資制度を含め、多様な施策に

子どもの貧困対策の推進について

葛山 繁隆 議員

問 ヤングケアラーに関する今後の取組について伺います。

答 ヤングケアラーの支援については、こども総合相談室の職員などが把握した場合には必要な支援を行っています。ヤングケアラーの支援に

問 未就学児の保険料軽減制度が国で創設されたが、全ての対象者の保険料を全額軽減するには、いくら必要になりますか。

答 令和4年度末の対象者で計算すると、現在、国民健康保険法に基づき均等割額全体の半額を減額しているため、残りの約536万円が必要となります。

より事業者の支援を継続しつつ、国等の政策を注視していきます。



LGBT理解増進法(注2)施行における本市の取組と課題について

河内 一朗 議員

問 本市のパートナーシップ制度への取組と近隣市の動向について伺います。

答 第3次鎌ヶ谷市男女共同参画計画における多様性に関する意識啓発の取組として、パートナーシップ制度の策定について検討を進めています。県内では8市がパートナーシップ制度を制定しており、そのうち千葉市、市川市など6

問 市が連携協定を結んでいます。LGBT理解増進法の施行における教職員に対する研修制度について伺います。

答 大きくは、県が主体のものとなり、本市が主体のものとなります。本法における基本的な計画は政府が策定することとなっており、研修は、その計画が示された後に詳細を決定していきます。

本市におけるデジタル化の推進について

富田 信恵 議員

問 デジタルに不慣れた市民への支援とマイナンバーカードの対応について伺います。

答 デジタル共生社会として誰ひとり取り残さない社会の実現を目指し、今年度は新たに南部公民館でスマートフォン教室を行うほか、今後も他の公民館での実施を検討していきます。また、市役所1階に設けたマイナポイントの認定支援ブースは約2万人の利用があったことから、今後も相談支援を行うことを検討しています。

問 今後の市の目指す姿について伺います。

答 目指すべき職員像を明確にした研修を実施するとともに、車座集会の実施により、市の財政状況などの共通認識や、職員からの提案を受けるなどの風通しの良い職場づくりに寄与するほか、業務改善や市民サービスの向上にもつながるものと考えています。



市議会キッズページ

子どもたちに市議会の活動を身近に感じてもらうため、「実際にあった市議会ストーリー」や「市議会での話し合い」、「市議会Q&A」などに項目を分けて、わかりやすく紹介しています。

市議会ホームページでご案内していますので、ご覧ください。



渋滞問題について

徳野 涼 議員

問 渋滞解消のためにどのような対策がありますか。

答 交差点改良や道路拡幅のほか、都市計画道路の整備により交通を分散させることなどが考えられます。

問 都市計画道路はいつ、どのように計画されたのですか。

答 都市計画道路は、都市計画法に基づき、位置や構造などを決定し、良好な市街地環境を形成するために都市計画と一体となって整備する道路であり、昭和40年に最初の都市計画決定がなされ、その後土地区画整理事業や連続立体交差事業の都市計画決定などに伴い、路線の追加や変更を行っています。

問 都市計画道路の整備状況を伺います。

答 現在の都市計画決定延長約40kmに対し、令和4年度末時点で整備済みは約12kmで、整備率は約30%です。



「子ども誰でも通園制度(仮称)」の創設への対応について

寺本 真理 議員

問 「子ども誰でも通園制度(仮称)」の概要について伺います。

答 現行の幼児教育、保育給付に加え、月一定時間までの利用可能枠の中で就労条件を問わず時間単位等で柔軟に利用できるものです。

問 今後の保育需要について市の見解を伺います。

答 新型コロナウイルスの5類感染症への引下げに伴い、保育利用を改めて検討する保護者が増えたことや新鎌ヶ谷地区をはじめとする住宅開発による子育て世帯の流入増と

本市の障がい者福祉施策について

鈴木 哲也 議員

問 視覚障がい者や高齢者などに音声により情報を提供することができるとスマートフォン、ユニボイスの概要を伺います。

答 文字情報を二次元コードに変換した音声コードに、専用のアプリケーションソフト

問 読み込んだスマートフォンをかざすだけで、印刷物の内容を音声で読み上げるもので視覚に障がいのある方だけでなく、小さい文字が見えにくい高齢者にも音声で情報を届けることができます。

いじめ防止に向けた取組について

山中 優宏 議員

問 いじめを認知するための方法や最近のいじめの増減の傾向について伺います。

答 いじめの把握に関しては、全国的な調査に加え、市教育委員会独自に年2回「いじめ総点検調査」を小中学校の児童生徒と教職員に対して実施しています。本年7月に実施

問 いじめ総点検調査では、回答した小学生の約16%の790名、中学生の約4%の88名が今年度いじめを受けたと回答しています。認知件数の推移ですが、小中学校ともに10年間は人数、割合ともに減少傾向にあります。どんないじめも見逃さず、適切に対応することを重視し、その防止に取り組んでいきます。



(注2) LGBT理解増進法：性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律

議案に対する質疑

各会派の代表者が市長の提出議案に対して、質疑しました。

政友会 大野 幸一

議案第3号

東部児童センターの設置について、施設の特徴と組織上の位置づけについて伺います。

施設は、敷地面積2千200㎡、建築面積595㎡の1階建ての鉄骨造りで、館内ホールには大型木製遊具を設置し、子どもたちが楽しく遊びつつ、保護者が交流できるスペースにする。また、小体育館をイメージした遊戯室にはボールダリングの壁の設置やバスケットボールができる環境を整備します。

また、組織面では各児童センターを地域の子育て拠点施設として位置づけていますが、東部児童センターが設置された際には市全体の子育て支援策を再構築するため、子育て支援センターの組織と機能を

公明党 矢崎 悟

議案第5号

条例改正の背景と概要について伺います。

近年、蓄電池設備は一般家庭でも普及が進んでいます。安全基準は鉛蓄電池を想定した規定となっているため、現在の蓄電池種別の多様化や大容量化に十分対応できるよう改正が行われました。

概要は、規制の対象となる蓄電池設備の単位が、Ah・セルから、kWに変更され、蓄電池設備の特徴に応じた安全基準

立憲民主党 河内 一朗

議案第6号

使用禁止となつて遊具と公園の数、また、危険性の高い遊具の判定プロセスと行政の役割について伺います。

今年度、公園の遊具の点検を行った結果、ブランコやスプリング遊具など著しい劣化等を確認したものが12の公園において19箇所ありました。危険性の高い遊具の判定プロセスと行政の役割については遊具の安全性を確保するため職員や清掃管理者などによ

未来会 議 徳野 涼

議案第6号

広告ジャケットレインの概要及び参加する自治体や事業費について伺います。

印旛日本医大駅と羽田空港駅を往復し、北総鉄道が所有する8両1編成の車両を利用して北総線の沿線市の魅力を鉄道利用者へ伝える車両内広告を行うもので、参加市や車両数の割当は、印西市と白井市が3両、本市が2両でそれぞれ車両において約75%が市の広告、約25%が千葉県

の広告を掲載します。また、事業総額は約961万円で、内訳として広告作成費は

決算審査特別委員会

令和4年度鎌ヶ谷市一般会計、3特別会計の歳入歳出決算及び1事業会計決算の認定について審査を行いました。一般会計についての主な審査内容は次のとおりです。

(総括)

市長として初めて編成した令和4年度予算に対する決算の評価を伺います。

市長就任直後に補正予算で計上した事業を、令和5年度当初予算にも計上し、継続して取り組むとともに、子育て世帯への支援や物価高騰対策等において、新規事業に取り組み、公約に掲げた事業について一定の成果が出たものと考えています。

(歳入)

令和4年度決算の全体的な財政状況について伺います。

中期財政見通しで想定した16億円を上回る約25億円の實質収支を確保でき、健全化判断比率は実質公債費比率が4.9%、将来負担比率が32.2%となり、いずれも国の早期健全化基準を下回りました。また、経常収支比率は95.4%となったものの、減債基金繰入金を加味した経常収支比率は91.7%で、財政調整基金残高は対前年度より約7億4千万円増の約26億円となり、いずれも、財政健全化計画に掲げる数値目標を達成することができました。

ふるさと納税の歳入額及び鎌ヶ谷市民がふるさと納税したことによる影響額について伺います。

ふるさと納税として5千573万6千円の歳入があり、令和3年度決算額との対比で2千604万8千円、87.7%の増となりましたが、関係経費を差し引くと、受入額は約3千万円となりました。

一方、鎌ヶ谷市民が他市にふるさと納税を行うことにより、市税の収入に約2億3千万円の影響がありました。このうち75%が普通交付税で措置されるため、影響額は約6千万円となりました。

そのため、これらを計算した結果、約3千万円の流出となりました。

市公式LINE情報発信事業について、東葛6市における比較を踏まえた本市の登録者の状況を伺います。

本市の登録者数は、令和5年8月31日現在、4万8千325名であり、人口に占める比率は44.2%となります。なお、東葛地区の他5市においては、人口に占める登録者数の比率が、いずれも10%に達していない状況です。これは、本市の場合、新型コロナワクチン接種の予約に、LINEを利用したことから得られた利点と考えられます。

決算審査特別委員会委員

- 委員長 泉 川 洋 二
- 委員 鈴木 哲 也
- 委員 伊藤 信 仁
- 委員 富田 真 恵
- 委員 寺本 真 理
- 委員 後 関 俊 一
- 委員 葛山 繁 隆
- 委員 津久井 清 氏
- 委員 森谷 宏

令和5年9月会議の審議結果一覧

議案番号等	件 名	審議結果	議案番号等	件 名	審議結果
議案第1号	令和5年度鎌ヶ谷市一般会計補正予算(第5号)	原案可決 全会一致	議案第12号	令和4年度鎌ヶ谷市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 全会一致
議案第2号	準用河川二和川バイパス整備(第9期)工事請負契約の締結について	同 意 全会一致	議案第13号	令和4年度鎌ヶ谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 全会一致
議案第3号	鎌ヶ谷市児童館設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致	議案第14号	令和4年度鎌ヶ谷市下水道事業会計決算の認定について	認 定 全会一致
議案第4号	鎌ヶ谷市空家等の適正管理に関する条例及び鎌ヶ谷市空家等適正管理資金貸付条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致	議案第15号	救急自動車の購入について	同 意 全会一致
議案第5号	鎌ヶ谷市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致	議案第16号	消防団消防ポンプ自動車の購入について	同 意 全会一致
議案第6号	令和5年度鎌ヶ谷市一般会計補正予算(第6号)	原案可決 全会一致	議案第17号	鎌ヶ谷市市道路線の認定について	原案可決 全会一致
議案第7号	令和5年度鎌ヶ谷市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決 全会一致	同意案第1号	教育委員会委員の任命について	同 意 全会一致
議案第8号	令和5年度鎌ヶ谷市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決 全会一致	諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適 任 全会一致
議案第9号	令和5年度鎌ヶ谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決 全会一致	発議案第1号	義務教育費国庫負担制度の堅持等に関する意見書	原案可決 全会一致
議案第10号	令和4年度鎌ヶ谷市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定 全会一致	陳情5-9-1	「国における2024年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する陳情書	採 択 全会一致
議案第11号	令和4年度鎌ヶ谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 全会一致	陳情5-9-2	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する陳情書	採 択 全会一致

*審議の詳細な内容については、11月下旬に市議会ホームページに掲載される会議録をご覧ください。

(お知らせ) 次の議会だよりは、2月15日(木)発行予定です。